

ひきこもりのキャリアデザイン

～生き方の選択肢を増やす～

POTA第59回全国研修会 in 栃木

基調講演

「ひきこもりのキャリアデザイン」 (仮)

宮田量治氏
(山梨県立北病院院長)

特別講演

「当事者と支援者の体験談」 (仮)

岡崎幸治氏
(リカバリー福島・
リカバリーカレッジうつくしま)
春山佳代氏 (医療創生大学)

ランチョンセミナー

「ひきこもり家族支援プログラム
のご紹介」
大塚製薬

シンポジウム

「作業療法はひきこもり支援に
何ができるのか」

- ①つなげる×OT：水沼健太氏 (栃木県精神保健福祉センター)
 - ②地域で支える×OT：松元雄太氏 (むろまち訪問看護ステーション)
 - ③フリースクール×OT：三富栄氏 (あしかがにしがっこう)
 - ④経験者×OT：野尻真生氏 (マロニエ医療福祉専門学校)
- コーディネーター：田村勇樹氏 (マロニエ医療福祉専門学校)

2025年11月30日(日)9:20～15:20

対象：POTA会員、作業療法士、行政職員、教育関係者など

参加費：会員2,000円 非会員4,000円

開催形態：ZOOM

申込み方法：peatix (事前支払)



QRコードを読み込むと
peatix (申込み画面)
が表示されます

in 栃木

POTA第59回全国研修会

「ひきこもりのキャリアデザイン」 ～生き方の選択肢を増やす～

現在、日本では推計146万人が「ひきこもり」状態にあると報告されています(内閣府,2023)。厚生労働省の「ひきこもりの評価・支援に関するガイドライン」によれば、ひきこもりとは、さまざまな要因の結果として社会的参加を回避し、原則6ヶ月以上にわたって概ね家庭にとどまり続けている状態と定義されています。

この問題は、児童・思春期だけにとどまらず、中高年層にも広がっており、長期化・複雑化の傾向を見せています。当事者やその家族は、社会的接点の減少により孤立しやすく、抱える課題や困難を誰にも共有できずに年齢を重ねていくケースも少なくありません。

今回の研修会では、「ひきこもりのキャリアデザイン」をテーマに掲げています。「キャリア(Career)」とは、単に仕事や職歴を指すのではなく、人が一生を通してたどる“生の軌跡”全体を意味します。そして「キャリアデザイン」とは、自分自身の人生を主体的に捉え、設計・再設計していくことを指します。

本研修を通して、ひきこもりを「選択された生き方(=キャリア)」として尊重しつつ、そこにある背景や意味に目を向けます。そのうえで、「問題意識を持つ一人の人間として、私に何ができるのか」を考え、当事者一人ひとりが自らの人生を主体的に再構築できるよう、支援の視点と選択肢を広げる機会としたいと思います。

対象:POTA会員、作業療法士、行政職員、教育関係者など

日時:2025年11月30日(日)9:20～15:20

参加費:会員2,000円 非会員4,000円 学生・当事者500円

開催形態:ZOOM 申し込み方法:peatix(事前支払)



【プログラム】 9:00～受付 9:20～開会

9:30～ 基調講演「ひきこもりのキャリアデザイン(仮)」

宮田量治氏(山梨県立北病院院長)

11:10～ 特別講演「当事者と支援者の体験談(仮)」

岡崎幸治氏(リカバリー福島・リカバリーカレッジうつくしま)

春山佳代氏(医療創生大学)

12:10～ ランチョンセミナー(調整中)

13:10～ シンポジウム「作業療法はひきこもり支援に何ができるのか」

〈シンポジスト〉

つなげる×OT:水沼健太氏(栃木県精神保健福祉センター)

地域で支える×OT:松元雄太氏(むろまち訪問看護ステーション)

フリースクール×OT:三富栄氏(あしかがにしがっこう)

ひきこもり×OT:野尻真生氏(マロニエ医療福祉専門学校)

〈コーディネーター〉

田村勇樹氏(マロニエ医療福祉専門学校)

*本研修会は、OT協会の生涯教育ポイント対象(1ポイント)となります。